

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (‘01ZE(CES9031・9041)用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)  
特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル一覧\*をご確認ください。

\*アフターサポート期間が終了したため、ラベルの発注はできません。

### 2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ プ 1 )	(タ イ プ 2 )	正 規 品	(タ イ プ 1 )	(タ イ プ 2 )
(タ イ プ 3 )	(タ イ プ 4 )	(タ イ プ 5 )	(タ イ プ 3 )	(タ イ プ 4 )	(タ イ プ 5 )

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。(有償)  
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

《本体側の設定方法》

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

1 本体操作部の **運転入/切** を10秒以上押し続ける  
 ⇒10秒後に全てのランプが**2秒間点灯**します。

《下図は例です》

本体表示部

運転中	文字が緑色に点灯します。	運転中	文字が点滅などしたら最初からやり直してください。
タイマー節電中 便座 温水 TOTO	※全点灯2秒間	タイマー節電中 便座 温水 TOTO	

本体操作部

手順3まで押したまま

2 **運転入/切** を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、**すぐに** **ビデ入/切** を5秒以上押す。

本体操作部

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

3 [※失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。]

**運転入/切** を押したまま、**おしり入/切** を押す。

**おしり入/切** を押すたびに標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

表示部	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5
運転中		◎	×	◎	×	◎	×
温水		◎	◎	×	×	◎	◎
便座		◎	◎	◎	◎	×	×

◎…点灯 ×…消灯

本体操作部

4 **運転入/切** から手を離れた時点で設定したコードになります。

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

5 ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

例

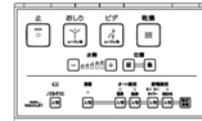
リモコンコード特1

この商品は特1タイプのリモコンでご使用ください。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

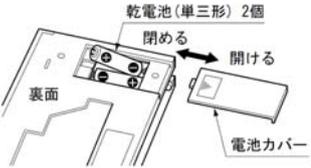
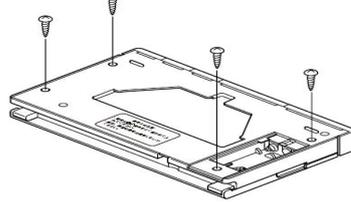
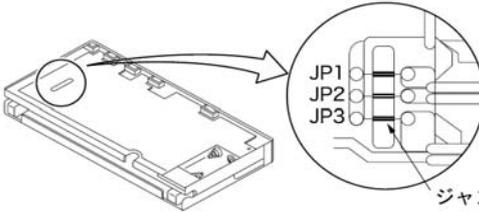
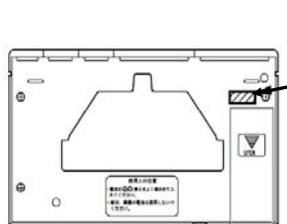


## 左図リモコンがセットされている 場合のリモコン設定方法

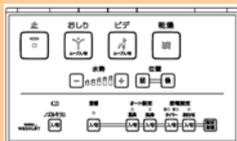


上図『補修品専用リモコン』の設定方法は、次ページをご参照ください。

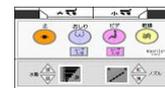
### <<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																												
1	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。                  ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。                  ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。                  (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																												
2	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーで取りはずす。</p> </div> </div>																												
3	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>◎…つながったまま ×…切断</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>ジャンパ線 \ コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p> </div>	ジャンパ線 \ コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×
ジャンパ線 \ コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																							
JP1	◎	×	◎	×	◎	×																							
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎																							
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×																							
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。                  ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。</p>																												
5	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p> </div> </div>																												

※1 ウォッシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)



# 『補修品専用リモコン』がセットされている場合のリモコン設定方法



上図のリモコンの設定方法は、前ページをご参照ください。

## <<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																				
1	<p>単3形乾電池 2個</p> <p>電池カバー</p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																			
2	<p>ねじ</p>	<p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> <p>◆裏板を外す際は、上側から外してください。 (下側から外すと外れにくい場合があります。)</p>																																			
3	<p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	<p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p> <p><b>*補修品専用リモコンではジャンパー線が4本ありますが、本体側で特コードを設定する場合は特5までしか利用できませんので特1～特5内で設定を行ってください。</b></p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																															
JP1	◎	×	◎	×	◎	×																															
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎																															
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×																															
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎																															
4	<p>電池端子</p>	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンを取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p> <p><b>ご注意!!</b> 裏板を取り付ける前に、電池端子が正しく取り付けられていることを確認してください。</p>																																			
5	<p>例</p> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																			

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)